

オカヤドカリ類（甲殻類，異尾類）の和歌山県白浜町における 春季の出現時刻

久保田 信

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 459
京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所

Appearance time of terrestrial hermit crab (Crustacea, Anomura) in Shirahama town, Wakayama Prefecture, Japan in spring

Shin Kubota

Seto Marine Biological Laboratory, Field Science Education and Research Center, Kyoto University, 459
Shirahama, Nishimuro, Wakayama, 649-2211 Japan

Abstract. In the late period of May in 2014 (spring), appearance time of terrestrial hermit crabs was observed in Shirahama town, Wakayama Prefecture, Japan. As a result, they appeared frequently from sunset to midnight of the day, and appearance in daytime is very rare and no appearance in rainy time.

Key words: terrestrial hermit crab, Shirahama, Wakayama Prefecture, appearance time, spring, sunset, rain

（要約）

2014年5月下旬の8日間（春季），毎日，様々な時間帯に和歌山県白浜町の一箇所でオカヤドカリ類の出現し始めの時期に一日の出現時刻を調査した。その結果，オカヤドカリ類は日の入りから真夜中まで頻繁に現われ，日中にはほとんど出現しないで，雨天時には全く現われなかった。

はじめに

熱帯系のオカヤドカリ類が，日本での自然分布の北限にあたる紀伊半島の和歌山県白浜町で暖季に出現する（久保田，2011a, b, 2012 a, b, 2013）。この最北限の地で彼らが一年で出現し始めた時節に，1日の内でいつ現れるのか，8日間連続して毎日，色々な時間帯に調査したので報告する。

材料と方法

2014年5月24日4時から5月31日23時59分の期間中，毎日，和歌山県白浜町番所崎の根元に位置する不動明王付近（洞の中とその周辺部で約100m²）で，オカヤドカリ類が出現する時間帯を調査した。この期間中は日の出が5時頃で，日の入りが19時頃なので，19時から5時までを夜間，残りの時間帯を昼間とし，夜間と昼間を均等分割して1日を4分割し（表1），

*連絡先 (Corresponding author): kubota.shin.5e@kyoto-u.ac.jp

オカヤドカリ類の和歌山県白浜町での春季の出現時刻

表 1. 和歌山県白浜町不動明王付近でのオカヤドカリ類の出現個体数の経時的変化 (2014 年春) *

月日・時間帯	0:00-4:59	5:00-11:59	12:00-18:59	19:00-23:59	Total
5 月 24 日	0(1)	0(1)	0(1)	4(1)	4(4)
5 月 25 日	2(2)	0(1)	X	17(5)	19(8)
5 月 26 日	X	0(4)	0(2)#	0(3)#	0(9)
5 月 27 日	0(2)	1(3)	2(4)	13(3)	16(12)
5 月 28 日	2(1)	0(4)	0(2)	12(3)	14(10)
5 月 29 日	X	0(3)	0(2)	6(4)	6(9)
5 月 30 日	X	0(4)	0(1)	8(2)	8(7)
5 月 31 日	1(2)	0(1)	X	13(3)	14(6)
Total	5(8)	1(21)	2(12)	73(24)	81(65)

*: 出現個体数 individual number appeared (観察回数 number of times observed) ;

X: 未調査 not observed.; #: 降雨 rainfall

できるだけ様々な時間帯(最短約 1 時間の間隔)にオカヤドカリ類の出現数をカウントした (1 分割の時間帯当たり最多で 5 回, 1 日では最多は 12 回)。調査期間中の天候はよかったが, 5 月 26 日夕方から雨天となりその日の深夜まで降雨があった。アルコール温度計でほぼ毎回の調査時に気温を岩窟内で測定した結果, 16℃ から 23℃ までの変化があったが, 大半は 20℃ を越えていた。なお, オカヤドカリ類は国指定の天然記念物なので, この調査には県と町の許可(指令文第 120 の (3)) を得て行った。

結果と考察

当該調査地点では 2014 年 5 月 19 日 22 時 30 分 (気温 22℃) に今年の初出現が 1 個体で確認された。それより約一週間後に実施した今回の 8 日間の連続調査により, 様々な時間帯での計 65 回の観察で 81 個体のオカヤドカリ類がカウントされた。ただし同じ個体が繰り返して出現しているかは確かめていない。

1 日を 4 分割した時間帯毎に 8 日間の出現総数を調査総回数で割った値は, 深夜 0 時から日の入りまでの 3 分割時間帯ではどれも 1.0 を大幅に下回っていたが, 日の入り頃の 19 時から深夜の 12 時までは, 雨天日の 1 日を除き (5

月 26 日), 複数個体が必ず出現した (8 日間の出現総数を調査総回数で割った値は 3.0)。1 日あたりに出現した総個体数は, 最多で 19 個体で (5 月 25 日の 8 回調査で平均 2 個体/回), 夜間に降雨があると全く出現しないことがわかった (表 1)。5 月 25 日には降雨が来ない岩窟内にも出現は全くなかったので, 昼間に潜んでいる場所に留まっているのであろう。

以上の結果を当該調査区でのオカヤドカリ類の出現終盤時期の状況 (久保田, 2012b) と比較すると, 秋季の調査期間中の日の出は 6 時頃で, 日の入りが 17 時 30 過ぎ頃なので, 夜間の時間の長さや時刻の差は当然あるが, どちらの時節でも, 夜間の前半に頻繁に出現しており, 日の入りから行動を開始する夜行性であると言える。なお, 5 月 27 日の 18 時 45 分から 23 時 45 分まで 4 回調査したが, この期間中は気温が 20℃ 以下だったが (18–19.5℃), 全回でオカヤドカリ類の出現が見られた (計 14 個体)。

引用文献

- 久保田 信. 2011a. ムラサキオカヤドカリ (甲殻類, 異尾類) の海岸での本州初の幼生の放出の確認. 日本生物地理学会会報, 66: 253-256.
久保田 信. 2011b. オカヤドカリ類 (甲殻類, 異

尾類)の幼体を京都大学瀬戸臨海実験所“北浜”で2011年秋季に再発見. 瀬戸臨海実験所年報, 24: 49-50.

久保田 信. 2012a. ムラサキオカヤドカリ類(甲殻類, 異尾類)の越冬個体を京都大学瀬戸臨海実験所“南浜”で2012年春に再発見. 瀬戸臨海実験所年報, 25: 36-38.

久保田 信. 2012a. オカヤドカリ類(甲殻類, 異尾類)の和歌山県白浜町番所山付近への出現. 日本生物地理学会会報, 67: 209-213.

久保田 信. 2012b. オカヤドカリ類(甲殻類, 異尾類)の和歌山県白浜町における初秋季の出現時刻. 日本生物地理学会会報, 67: 215-217.

久保田 信. 2013. ムラサキオカヤドカリ(甲殻類, 異尾類)の和歌山県白浜町海岸での幼生放出記録. 日本生物地理学会会報, 68: 121-123.

(2014年10月21日受領, 2014年10月29日受理)